

JCAS連携研究成果報告

発行年月	No.	タイトル	執筆者
1999年8月	JCAS連携研究成果報告 1 発展途上諸国の農村開発	序文 発展途上諸国の農村開発	山田 睦男
		農村開発論の展開	水野 正己
		バングラデシュ農村開発実験——関わりの作法	海田 能宏
		新自由主義経済と農地改革——ラテンアメリカの場合	石井 章
		フィリピン国民国家における農地改革と農村開発	レスリー・パウソン 原著／山田 睦男 抄訳
		コンゴの農村開発——政策と社会の対応	武内 進一
		新たな作物の導入による在来農業の変容——タンザニア、ザンビアの事例	高村 泰雄
		西スマトラ州パダン高原高地湖周辺域の土地利用変化	中野 和敬
		高度成長下ジャワ農村の変容——インドネシア天水農業の事例	横山 繁樹
		アルゼンチンにおける貧困問題——ブエノスアイレス州とトゥクマン州の事例	宇佐見 耕一
		農村と都市のエスニシティ——グアテマラのインディオとラディノ	小泉 潤二
2000年3月	JCAS連携研究成果報告 2 オセアニアの国家統合と国民文化	序文	須藤 健一
		序論 島嶼国の今日的課題	須藤 健一
		1.パラオの政治学1947-1994 ——「合意の政治」の終焉	遠藤 央
		2.ミクロネシア連邦ヤップ州の伝統的首長と政治統合	柄木田 康之
		3.フィジー諸島共和国憲法	橋本 和也
		4.トンガ王国の民主化運動	須藤 健一
		5.島嶼国と「民衆中心の開発」——ソロモン諸島におけるエコツーリズムの事例から	関根 久雄
		6.極小島嶼国自立の比較研究——太平洋とカリブ海	高橋 康昌
		7.カスタムとカスタム——オセアニアにおける伝統概念研究の批判的考察	吉岡 政徳
		8.第8回太平洋芸術祭調査に向けて	山本 真鳥
		9.PNGの近代化と疾病構造の変化——感染症から成人病へ、そしてまた感染症	稲岡 司
		10.ソロモン諸島国のマラリア対策と部族間紛争	川端 真人
2000年7月	JCAS連携研究成果報告 3 熱帯林における生物多様性の保全と利用	序論「地域研究と熱帯林」	吉田 集而
		1.生物多様性と生態系特性——植物のまとう衣に注目して	安部 琢哉
		2.生物多様性に関する法制度	磯崎 博司
		3.西スマトラ州におけるミナンカバウ族農村の植生構造——シビサン村の事例	米田 健
		4.インドネシア東カリマンタン州スプル地区の地域経済と焼畑	曾田 良
		5.開発と保全の社会的リンク——タイにおける環境援助と住民参加	佐藤 仁
		6.地域環境における抑圧と抵抗をめぐって——インドの環境運動、チプロの論理	金沢 謙太郎
		7.西アフリカにおける土地制度と森林——北部ナイジェリアの事例	増田 美砂
		8.エコ・ツーリストと熱帯生態学	池田 光徳
		おわりに	吉田 集而

JCAS連携研究成果報告

発行年月	No.	タイトル	執筆者
2003年1月	JCAS連携研究成果報告 4 酒をめぐる地域間比較研究	序文	落合 雪野・赤嶺 淳
		1. 中国の白酒の蒸留と酒花	高山 卓美
		2. 酒になった穀物ならなかった穀物	佐藤 洋一郎
		3. タイ国の酒産業	寺本 祐司
		4. 熱帯アフリカのハチミツ酒の系譜——ケニア山麓での調査から	安溪 貴子
		5. 東南アジア島嶼部におけるヤシ酒文化序論	赤嶺 淳
		6. モンゴル族の乳酒—— 乳利用の進展に伴いカビ利用と訣別か	越智 猛夫
		7. 内陸アジアの遊牧民の製造する乳酒に関する微生物学的研究	石井 智美
		8. 伝統酒としてのマッコリ	鄭 大聾
		9. もうひとつの麴酒圏 ——カリブ海麴酒圏	吉田 集而
		10. 古代インドの儀礼における酒の利用	永ノ尾 信悟
		11. ウォッカの起源と民俗	伊東 一郎
		12. 森林焼畑農耕民の酒造りと飲酒の機能 ——エチオピア西南部の事例を中心に	佐藤 廉也
		13. 日本の酒税制度—— 現実とビジョン	西谷 尚道
		14. これからの酒研究の展望	栗山 一秀
2003年3月	JCAS連携研究成果報告 5 西アジア社会の重層的構造	序文	松原 正毅
		基調報告	後藤 明
		1. 西アジアにおける先史時代文化の重層性—— ウバイド期の墓制形成	小泉 龍人
		2. イスラーム法における遺産からの「神の債権」の履行について	柳橋 博之
		3. 市場論とアジア経済の重層性	原 洋之介
		4. エジプト知識人と文化的重層性—— ガマル・ヒムダーン著『エジプトの個性』をめぐる	長沢 栄治
		5. パレスチナ/イスラエルにおける地域の重層性	白杵 陽
		6. オスマン帝国の重層性	鈴木 董
		7. バスマチ運動におけるエンヴェル・パシャ	帯谷 知可
		8. 歴史と伝説の重層性——西アジアにおける imitatio Alexandri	山中 由理子
2003年12月	JCAS連携研究成果報告 6 オセアニアの国家統合と地域主義	序論—オセアニアの国家統合と地域主義	須藤 健一・山本 真鳥
		1. クリステリアン・カランプーのなかのフランス、フランスのなかのクリステリアン・カランプー ——フットボールが結ぐ「民族」の記憶とアイデンティティをめぐる	佐藤 幸男
		2. 誰がダンスを踊るのか? ——第8回太平洋芸術祭へのミクロネシア地域の参加	安井 真奈美
		3. 悲劇的歴史の記憶と血の共有——バナバ人とキリバス人の差異および連続性	風間 計博
		4. ニューカレドニア—— 共同体の語りにみるカナク・アイデンティティー	江戸 淳子
		5. この土地は私ものではない、この土地は私そのもの —— オーストラリア先住民の権利回復の背景	窪田 幸子
		6. フィジー政治の論理—— 国民統合政府の理念と現実	東 裕
		7. 国民和解と国家再建—— フィジーにおける2000年クーデターをめぐる論争	橋本 和也
		8. 紛争とコンベンション—— なぜソロモン諸島政府は支払うのか	関根 久雄
		9. 「民族紛争」下の住民たち——ソロモン諸島マライタ島避難民の移住パターンと生活戦略	宮内 泰介
		10. 災害対応に見る脆弱性—— 1998年アイタベ津波災害からの復興支援と被災者	林 勲男
		11. 地域・国家・エスニシティ—— 太平洋島嶼フォーラムの地域紛争への対応	小柏 葉子
		12. ミクロネシアの経済自立と自由連合	小林 泉
		13. 上からの統合、下からの統合——サモア社会の国民統合と村落構造	山本 真鳥
14. メラネシアにおけるナショナリズム——独立運動と分離運動	吉岡 政徳		